



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の
配分金で発行されています。



昭和27年1月11日
第三種郵便物認可第786号
令和3年6月25日発行
(毎月25日発行)

福祉だより 信州

社会福祉 HERO'S vol.12

二十年後、地域で活躍する人材
を地域とともに育てる

詳しくは巻末をご覧ください。



特集

みんなで取り組む福祉教育
～プラットフォームづくりを目指して～

No.

786

2021 7月号

「ともに生きる」を発信する

実践目標 ①「ごちゃませ」の力をまちづくりの原動力に

みんなで取り組む福祉教育

～プラットフォームづくりを目指して～



ふだんのくらしの
しあわせ

福祉教育

リアルな
福祉に向き合う

共生教育

福祉の仕事への
関心を広げる

福祉
キャリア教育

地域ごとに、みんなで取り組む

その人らしさ、多様性、支え合いなど、「ともに生きる」理念をすべての世代に発信したい。福祉教育推進のプラットフォームづくりを目指した取組がスタートしました。



ふだんのくらしのしあわせ

県社協ホームページ
福祉教育の
バナーデザインが
新しくできました。

私らしく暮らすため、地域の一員として何ができるだろう

「ごちゃませ」の社会を目指し「ともに生きる」を発信する

一昨年(2019年)に、長野県地域福祉支援計画がスタートし、これを踏まえて、昨年度、県の官民1000団体の皆さんと一緒に信州ふっころプランを策定しました。

信州ふっころプランは、地域共生社会の実現を目指して、皆で取り組む共同のアクションプランという意味合いを持ちます。

この中のキーワードに「ごちゃませ」があります。ごちゃませには、多様性のある地域づくりを進めていこうという意味と、福祉分野を超え、教育分野やまちづくり等多様な分野の人たちと繋がって地域課題を解決していこうという決意が込められています。

福祉教育の重要性

地域共生・信州を目指し「ともに生きる」を発信していくために、一人ひとりが自分たちの地域・暮らしについて考え、ともに暮らしをつくる仲間であることを考えることが大切です。

信州ふっころプランには、「ともに生きる」マインドを発信し、互いを認め合い、多分野と連携しながら、共生の理念をすべての世代に伝えていく福祉教育の重要性を謳っています。

「ふだんのくらしのしあわせ」を自分たちの福祉としてともに考え、「共生の文化」をつくるのが福祉教育の目標です。

福祉教育 推進セミナーで キック・オフ！



オンラインで県内各地の様々な団体をつなぎセミナーを開催。UDトークも活用し情報を発信しました。

※話された音声を表示するアプリ

令和3年度第1回 福祉教育推進セミナーの開催

本会の今年度事業として、みんなで取り組む福祉教育を進めていこうと、5月31日に第1回福祉教育推進セミナーをオンラインで開催しました。

全県の市町村社協をはじめ、地域包括支援センター、公民館関係者、当事者団体、あいサポート推進員、NPO団体等67名が参加。福祉教育の実践者6名による座談会のあと、参加者がグループに分かれて情報交換会を行いました。

福祉教育への思いを共有し、みんなでもとに取り組むネットワークづくりを目指し、「ともに生きる」福祉教育の輪が広がるキックオフの会となりました。

令和3年度 第1回 福祉教育推進セミナー 実践者座談会

福祉教育の実践者6名より、 活動紹介と取組への想いを紹介していただきました。

*所属・役職等はセミナー当時のものです。



**パラリンピアンが
取り組む共生教育**
長野県障がい者スポーツ協会
障がい者地域スポーツコーディネーター
加藤 正 さん

共生社会づくりの啓発活動 スポーツを通じて

障がいのことを伝える際、特に子供たちには、障がいを友だち事として考えようと話しています。「自分と障がいは隣り合わせ。友だちが障がい者になるかもしれない」などと話すと、障がいのある人は特別な存在ではなく、相手を思いやる大切さに気づきやすくなります。また、パラスポーツを一緒に楽しんでもらうことで共生社会の意味を伝えたいと思っています。



**あいサポート運動の
輪を広げる共生教育**
NPO 法人 Happy Spot Club
代表理事
高山 さや佳 さん

日常の暮らしの中にある福祉 そのリアル

NPO 法人の活動の傍ら、学生や地域へ向け「福祉」について講演を行っています。現代社会の中で地域には困りごとや苦しみがあります。「福祉」は、誰からも遠い存在ではなく誰にでも関係する身近なものです。私にとっての福祉教育は、苦しみを苦しみで終わらせず、子どもたちの心に、自分で解決できるチカラを育てることです。



**福祉の仕事 PR 活動
福祉キャリア教育**
公益財団法人長野県介護福祉士会
会長
柳澤 玉枝 さん

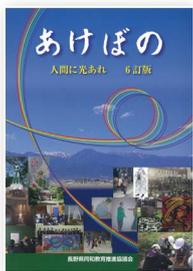
「ふくしニア」で介護体験 福祉の仕事に 心を広げる

「ふくしニア」を地域づくりに活かそうと、地域住民向けに高校生とのコラボによる介護福祉士体験を実施しました。福祉職のPRや人材育成にも関わることができました。地域共生社会を目指し、専門職としての対人援助技術や倫理観等を活かしさりげなく意図的にかかわり、様々な地域の人たちと協力し、地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。

関連情報



「福祉教育のススメ」地域における福祉教育推進のためのリーフレット。福祉教育の素朴な疑問に答えます。発行/長野県社会福祉協議会



「あげぼの～人間に光あれ～」長野県内の人権教育・同和教育の副読本。発行/長野県同和教育推進協議会



信州あいサポート運動「障がいを知り、共に生きる」障がいについて正しく理解し配慮につなげるための冊子。編集・発行/長野県



「ふくしニア」上田千曲高等学校生活福祉科の学生たちが始めた、福祉の仕事体験イベント。福祉を学ぶ学生たちが、その学びをさらに小・中学生へと伝えていく、イメージアッププロジェクトです！



**学校と社協の連携
通年を通しての福祉教育**
飯綱町社会福祉協議会
ボランティアコーディネーター
福澤 美緒 さん

福祉教育は ふだんのくらしのしあわせづくり

学校と社協の連携による一年を通しての福祉教育の実践を進めるには、日頃から顔の見える関係を作ることが大切です。飯綱町社協では、年度初めに学校との通年授業の組み立てを相談したり、実践の場には地域の方も巻き込んで共に授業をつくっていくことを大切にしています。



**社会教育分野で
取り組む福祉教育**
長野県生涯学習推進センター
所長
木下 巨一 さん

生涯社会教育（公民館活動）と 福祉教育のエッセンス

社会教育とは、「学校・家庭以外の広く社会で行われる教育」です。福祉と社会教育のつながりを整理してみると、専門領域の異なる方たちが、その地域に住まう方の目線で連携することにより、地域にとってより必要な活動に結びついていくのではないかと思います。「社会教育活動」「公民館活動」が「地域福祉活動」と重なることで、これまで以上に「ふだんのくらしのしあわせ」の実現の取組が進んでいくことを願っています。



**地域包括支援センターが
取り組む住民の福祉教育**
社会福祉法人上田いのみ会
川西地域包括支援センター生活支援コーディネーター
蒲生 俊宣 さん

健康づくり、介護予防から学ぶ ワンコイン出前講座

地域包括支援センターの機能とネットワークを活かした「ワンコイン出前講座」は、介護予防や健康増進等、地域から寄せられる学びの依頼に、わかりやすく答える窓口として好評です。地域連携や地域貢献を進めたい職能団体と地域の活動や学びの機会をつくるほか、地域における福祉施設や関連職の紹介にもつながります。私自身消防団としても活動し、そこでの地域ネットワークも福祉教育に一役かっています。

皆で福祉教育を取り組むために 共有したい3つの視点

「ともに生きる」を発信する仲間として、福祉教育の3つの視点を共有し、各団体の持つノウハウやネットワークの活用とその広がりを期待しながら今年度の取組を進めます。

ふだんのくらしのしあわせ 福祉教育

「ふくし」とは「ふだんのくらしのしあわせ」というキーワードで表現し、特別なことではなく、身近なものとして、多様な世代へ伝えていく広い意味での福祉教育を発信していきます。

リアルな福祉に向き合う 共生教育

共生社会を目指し、長野県では共生教育や信州あいサポート運動に取り組んでいます。社会的影響を受ける暮らしの課題などにも目を向け、リアルな福祉に向き合う必要があることを、共生教育を通して考えていきます。

福祉の仕事に関心を広げる 福祉キャリア教育

福祉キャリアの構築を多世代へ働きかけていくことは、持続可能な福祉人材の育成・確保にもつながります。将来的な人材の活躍への期待と、福祉が関わる仕事のさらなる広がりを見据えた福祉キャリア教育を推進します。

「ともに生きる」を発信する 長野県社会福祉協議会の取組

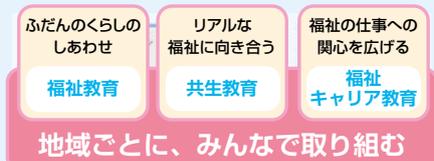
福祉教育に皆で取り組んでいくための働きかけや連携促進を地域単位や分野、課題ごとに進めていきます。

例えば、福祉オンラインカフェの定期的開催や福祉教育推進員の育成、教材冊子等の情報の発信を行います。2月には、まちづくりボランティアフォーラムを予定し、大きな学びの場を計画しています。

今年度より、福祉人材センターでは、福祉の訪問講座の講師派遣事業の体制整備をおこない、福祉教育推進の費用面でも関係機関が活用できる体制を整えました。あわせて、福祉の仕事PR教材なども順次紹介していきます。

「ともに生きる」を発信する 県社協の取組

① 目標



② 学びの場

- ふくし オンラインカフェ (隔月程度)
- 福祉教育推進セミナー
- 福祉教育推進員の拡充

まちづくりボランティアフォーラム
R4. 2月 開催予定
関プロ地域福祉学会
セミナー (同時開催)

③ 「福祉で学ぶ」訪問講座

福祉教育
キャリア教育 講師派遣

福祉教育
キャリア教育 **NEW** 市町村社協等との共同開催
経費は県社協負担

令和2年…50回派遣、令和3年…派遣・共同開催で100回



「福祉で学ぶ!」訪問講座事業 長野県社会福祉協議会 福祉人材センター
学校や公民館等への講師等の派遣や、体験先の紹介など福祉を題材とした学びをお手伝いします。 <http://www.nsyakyo.or.jp/news/2021/05/3-8.php>

神様からの贈り物



長野県社協ホームページ福祉教育のバナーデザインとして、増田汐里さんに作品協力をいただきました。「ともに生きる」イメージが多くの方に伝わるよう発信していきます。

皆さんは普段、どんな景色を見て、感じて、過ごしていますか？ 見えている、感じ取っている世界は一人ひとり違います。SDGsの3番「すべての人に健康と福祉を」、10番「人や国の不平等をなくそう」をテーマに、感覚過敏の障がいを持つ私が、普段感じ取っている世界を表現しました。日常にある光景を通して「個性・多様性」について思いを馳せる作品です。

増田汐里さん 岡学園トータルデザインアカデミー

information

福祉の活動や取組、福祉の仕事の魅力など様々な最新情報・コンテンツをお届けします。

YouTube ふっころチャンネル

県社協公式 Instagram



第3回 福祉教育オンラインカフェを開催します！ 「ふくし教育のリアルを語ろう」

「ふくし」を伝える際の視点や大切にしている思いを話そう

2021年 7月8日 (木) 16:00 ~ 16:50

高山さや佳さん NPO 法人 HappySpotClub 代表理事

全国福祉教育推進委員 (社会福祉協議会)

オンラインカフェは、出入り自由 & 気軽に無料で参加できる場です。

●申し込みフォーム <https://forms.gle/BFAtP1UPnWzqY3QS8>

【問い合わせ】まちづくりボランティアセンター 担当：福澤・元持
TEL：026-226-1882 メール：machivc-entry@nsyakyo.or.jp

8月以降も
予定しています



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 入院中の手術		65,000円	
	保険金 外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
（ふくしの保険ホームページ）



ボランティア行事用保険 **送迎サービス補償** **福祉サービス総合補償**

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

（傷害保険）

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ20-12302 2020.12.28 作成)

令和3年度 社会福祉施設 総合損害補償 しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の

事故・紛争円満解決のために!

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 **施設業務の補償** (賠償責任保険、動産総合保険等)

1 基本補償(賠償・見舞)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
補償基本A型	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	100名以降1名~10名増ごと	1,500円
付見舞費用B型	基本補償(A型) 保険料	+
		[見舞費用加算] 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

プラン2 **施設利用者の補償**

プラン3 **施設職員の補償**

プラン4 **社会福祉法人役員等の補償**



です。 充実した補償と 割安な保険料

スケールメリットを活かした

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(SJ20-12299 2020.12.28 作成)

2021年度地域福祉コーディネーター総合研修がスタートします!

■これまでの地域福祉コーディネーターの養成

本会は、地域の福祉・生活課題の深刻化と、それに対する福祉施策の変化を見据えながら、①現行の仕組みでは対応しきれない、多様な福祉・生活課題への対応、②地域住民のつながりを再構築し、支え合う体制の実現、③住民と行政の協働による新しい福祉の実現を目指す人材養成のため、市町村社協の他、行政、地域包括支援センター等の職員を対象に2010（平成22）年度から「地域福祉コーディネーター養成事業」をスタートしました。11年間で約1400名が受講し、315名が地域福祉コーディネーター養成研修のカリキュラムを修了しています。

■重層的支援体制整備事業と長野県地域福祉支援計画の中での地域福祉コーディネーターの役割

令和3年4月1日から、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、市町村において重層的支援体制整備事業がスタートしました。この事業では、個別課題や地域課題を支援関係機関が協働し、本人や世帯に寄り添い、伴走支援する体制の構築が重要となっております。また、長野県地域福祉支援計画では、誰もが活躍し安心して暮らせる「住民主体の新しいお互さま社会づくり」を目指し、住民の自主的な活動を応援することや、個別課題や地域課題の解決を図るために住民同士だけではなく住民と関係者、または関係者同士をつなぎ、必要に応じてネットワークを構築し、地域における資源の開発・活用を進めることが地域福祉コーディネーターに期待されています。

■個別支援、地域支援、協働…様々な場面で役立つプログラムを準備

様々な場面で活躍が期待される地域福祉コーディネーター。今年度は分野を超えた出会いや学びをキーワードに研修体系を整理しました。「共通講座」では、「地域福祉コーディネートの7つの機能」を中心に地域福祉コーディネーターの役割を学ぶことから始まり、まちあるきやボランティアコーディネーション、ファシリテーショングラフィック等の地域づくりに役立つ講座を準備しています。さらに、深く生活支援コーディネーターの役割や実践を学ぶ「専門研修」、コーディネーターや専門職の皆さんを応援し、実践にも役立つつながりを作る「地区交流プログラム」を準備しています。どのプログラムも単発での受講が可能ですので、「仲間を作りたい」「自分の取組の意味を考えたい」という方はぜひ参加してください。

地域福祉コーディネートの7つの機能

- A 相談窓口機能
 - B ニーズ把握機能
 - C 問題解決機能(地域と一緒に考える)
 - D 地域住民へのエンパワーメント機能
 - E 地域組織化機能(地域で支える仕組みづくり)
 - F ネットワーキング機能
 - G 地域の支援システム構築機能
- (地域福祉研究会報告書・提言(長野県社会福祉協議会)から抜粋)

研修体系

	地域福祉分野 社協職員・行政・社会教育主事 等	高齢分野 生活支援Co・包括支援センター 等	障がい分野 生活支援員・主任相談支援専門員 等	児童分野 児童指導員・生活支援員・子ども食堂 等
8月	共通講座①(必須)	地域福祉の方向性と地域福祉コーディネーターの役割		
	共通講座②(必須)	地域共生社会推進長野フォーラム		
8月 ～ 1月	専門講座⑬～⑮	生活支援コーディネーターのための地域づくり研修 <small>※高齢分野中心ですが、住民のエンパワメントなど共通のスキルを学びますので、選択して受講をお勧めします。</small>		
	共通講座③～⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク「まちあるきワークショップ市街地編・山間地編」 ・新型コロナウイルス感染予防PLAY講座 ・「あったらいいな」を発見・創造しよう!(社会資源開発プログラム) 		
	地区交流プログラム⑯～⑲	4地区コーディネーターサロン		
2月	共通講座⑪(必須)	まちづくりボランティアフォーラム/日本地域福祉学会関ブロセミナー		
	共通講座(総合)⑫	コミュニティにおけるソーシャルワーク力強化研修		



やさしさのおすそ分け

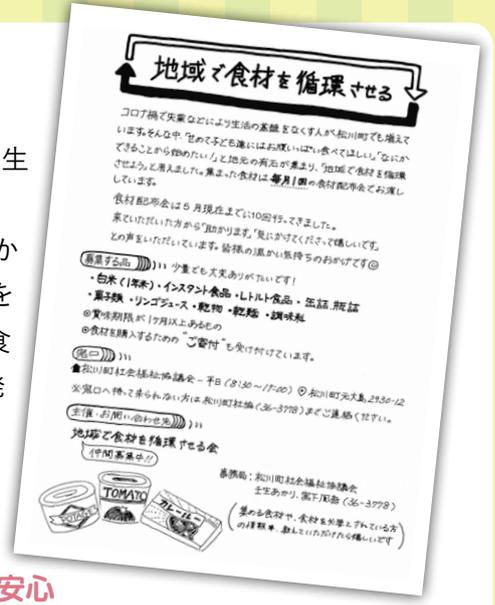
～地域で食材を循環させる会(松川町版フードドライブ)～

コロナ禍で大切なことを教えてくれた地域の声

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、仕事などの生活の基盤が不安定になる方が多くいらっしゃいます。

下伊那郡松川町では、地域からの「せめて子どもたちにはおなかいっぱい食べてほしい」「何かできることから始めたい」という声をきっかけに、自宅に眠っている食材を必要な方に届ける『地域で食材を循環させる会』が地域住民や地元NPOの協働で昨年6月に発足しました。

食材は、子育て世代や社協に生活福祉資金の相談にみえた方を中心にお渡ししています。



配布会では地元の高校生が大活躍！

共感が生んだ大きな輪と安心

地域に食材の募集を呼び掛けると、住民の方や町内外の商店・企業から協力いただき、お米やカップ麺、お菓子などを温かいお気持ちと共にお預かりしています。中には、松川町特産の“梨”や“りんごジュース”をお届けくださる方もありました。

毎月1回、集まった食材をお渡ししています。配布場所は会のメンバー『こどもカフェHug』の軒先。食材の受け渡しは地元の『松川高校ボランティア部』の生徒さんに協力をいただいています。今年5月で食材配布会は10回目を迎えました。毎回20名前後の方にお渡しできています。子育て世代の方からは「助かります」「この町にも私達のことを思ってくれる人がいて嬉しい。こんなにさせていただいて心が温まる」と、暫く立ち話をしていられる方もいらっしゃいます。食材を受け取りに、約3kmの道のりを歩いてきてくださった子どもさんもお、「この活動を必要としてくれる方がいるんだ」とメンバー一同が安心できた場面もありました。



月に1回の食材仕分け

食の循環がやさしさの循環を生んだ松川町

松川町社協も会の立ち上げから事務局としてともに活動する一員。

なるべくお腹一杯食べてもらえるように…と毎回袋いっぱいに食材を詰め、両手いっぱいに持ち帰っていただくのが地域で食材を循環させる会の“願い”。その願いが将来実現するよう食材集めに力を入れています。いつまで続けられるかわかりませんが、食材をお届けくださる方、会のメンバーさんと共に地域の中で優しさを循環させられたらなと思っています。

お問い合わせ先

地域で食材を循環させる会 (代表:何原 弓絃さん)

TEL.0265-36-3778(松川町社会福祉協議会地域ボランティアセンター)

社会福祉 HERO'S

ウェブサイト「ひとりひとりが社会福祉HERO'S」から引用しています。
http://www.shafuku-heros.com/

福祉の現場で活躍する
ヒーローたちをご紹介します。



郷原つつじ保育園
社会福祉法人 つるみね福祉会
郷原つつじ保育園職員の方



webでも
ご覧になります



生きることに直結した食育に力を入れています



木製のおもちゃに囲まれて部屋の雰囲気も温かい



つるみね福祉会HP

待 機児童問題の解決に向けて、児童養護施設を運営する社会福祉法人つるみね福祉会は、令和3年4月に小規模認可保育園所郷原つつじ保育園を開所しました。開所にあたり、クラウドファンディングを活用して寄附を集め、園児が使う食器やテーブル、おもちゃ等を購入するなど、地域とのかかわりを重視して運営をしています。園長の金澤理恵さん、クラウドファンディングを担当した保育士の澁谷未希さん、同法人で長野県児童福祉施設連盟会長であり、児童養護施設つつじが丘学園園長の川瀬勝敏さんにお話を伺いました。

金澤 親御さんが信頼してお子さんを預けられるよう、安心安全をモットーにしています。保育園の設計の段階から、ドアで手を挟まないように、また、コンセントやカギの高さも意識しました。豊かな自然に囲まれた土地なので、地域の方にも保育園を利用してもらいながら、ゆったりと丁寧に運営していきたいです。

澁谷 クラウドファンディングは初めての経験なので大きなプレッシャーでした。お金を集めるためにプロジェクトの目的をどう伝えてい

くか、どうしたら多くの方の目に留まってもらえるかを考えました。職員同士で励まし合いながら、チラシを持って足で稼いで、たくさんつながりができました。苦労は多かったですが、子どもたちが購入した木製の温かみのあるおもちゃで遊んでいる姿を見ると、感謝の気持ちでいっぱいです。

川瀬 コロナ禍で人とかかわりが減っていく中、令和時代は、人とかかわることでもっと幸せになれるという価値観を作っていきたいです。20年後、ここにいる子どもたちが二十歳を過ぎた大人になって地域に戻ってきた時に、小さい子どもたちと一緒に遊べる、そんな保育園や社会になってほしいと願っています。

川瀬さんは今回のプロジェクトを通じて、子どもたちの夢が広がり、創造性が芽生え、毎日の生活が「happy」になること、さらに、子どもと大人がかかわることで人生がもっと「happy」と感じる経験を増やしたい。そして、その経験が地域に広がり、新しい家族のカタチが作られ、多様性の中でお互いに支え合える暮らしが生まれるようサポートし続けていきたい、と想いを語りました。

●ご感想、お問合せ、掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会
総務企画部 企画グループ
TEL 026-228-4244
FAX 026-228-0130
E-mail kikaku@nsyakyo.or.jp

webでもご覧になります

長野県社会福祉協議会 福祉・介護べり帖



長野県福祉研修実施団体 きやりあねっと 信州福祉・介護のひろば



ざわめくアート 『無題』

作者:米持 慎吾 (よねもち しんご) 22歳
上田市在住



ザワメキアート展2019で入選した時の米持さんの絵は、駅員さんや道路工事の重機を動かしている人、信号機などであった。なぜか首が傾いていたりとてもユニークな絵だった。久しぶりに彼が通う福祉事業所に伺って、最近の絵を見せてもらい、僕の頭の中は?マークが駆け回り、あんぐりと口を開けるばかり。最近の米持さんの関心(それを人はコダワリともいう)はフクラハギだそう。たくましいフクラハギだ。指の先まで力が入っている。なんでこんな足の格好なのか?そしてなぜか女性の顔はキティーちゃんのマスクで隠されている。なんという大胆な絵だろう。ナゾは深まるばかり。イヤハヤかなわねえなあ、と僕はつぶやいたのだった。

(ながのアートミーティング 取材)